2026 年 11 月 16 日

三菱食品株式会社

食品卸として初※1、Google Cloud 主催
「第 6 回 AI エージェント事例アワード」ファイナリストに選出。
AI エージェントで
営業提案を高度化し、生活者理解を価値ある提案へ。

三菱食品株式会社（所在地：東京都文京区、代表取締役社長：伊藤 和男）は、食品卸として初めて Google Cloud 主催の「第 6 回 AI エージェント事例アワード」において、全国から集まった先進事例の中からファイナリスト 8 社に選出されました。

ファイナリストに選出された「0 次分析マルチ AI エージェント」は、当社が小売業様からお預かりした購買データを起点に、DD マーケティング※2 の営業担当者一人ひとりが生活者理解に基づく提案を行えるよう支援する取り組みです。限られた専門人財だけでなく、誰もがデータを活用できる環境づくりを通じて、生活者理解をお取引先様への価値創造につなげる点が評価されました。



Google Cloud 主催「第 6 回 AI エージェント事例アワード」にて、DD マーケティングの営業担当者の生活者理解に基づく提案を支援する「0 次分析マルチ AI エージェント」の活用事例を発表する様子

■評価された取り組みについて

当社が小売業様からお預かりした購買データを起点に生活者の購買実態を捉え、DD マーケティングの営業担当者による顧客課題の発見や提案活動を支援する仕組みです。これまで ID-POS などの購買データの分析には専門知識や時間を要するため、その活用は一部の専門担当者が中心となっていました。

今回発表した**「0 次分析マルチ AI エージェント」**では、システムによるデータ集計に加え、AI エージェントが対象商品を購入する層や購買行動の特徴を読み解き、提案につながる仮説とともにレポートとして出力します。

これにより、DD マーケティングの営業担当者は、自らの経験や知見に購買実態から得られる気づきを重ね、生活者理解に基づく提案をより迅速に行えるようになります。

ファイナリスト選出企業

三菱食品 マーケティング開発本部 事業開発グループ 分析ユニット

「当社は、モノの流れを支えるだけでなく、モノと情報の流れをつなぐ食品卸を目指しています。
本取り組みでは、これまで一部の専門担当者が担っていたデータ分析を AI エージェントが支援することで、DD マーケティングの営業担当者一人ひとりが生活者理解に基づいた提案を行える環境の実現を目指しました。」

■開催概要　Google Cloud 主催「第 6 回 AI エージェント事例アワード」

「AI エージェント事例アワード」は Google Cloud が主催する、日本企業による革新的かつ実用的な AI エージェント活用事例を表彰するアワードです。
https://cloudonair.withgoogle.com/events/gcgenai-innovation-awards

企業や自治体、教育機関などから幅広く事例を募集し、「技術的革新性」「実用性・実現可能性」「社会的・経済的影響」の観点から審査が行われます。応募企業・団体の中から選出されたファイナリスト 8 社がピッチコンテストに登壇し、自社の取り組みを発表しました。今回は第 6 回目の開催となり、AI が自律的に業務を遂行する「AI エージェント」の活用をテーマに、企業の課題解決や事業変革につながる先進事例が全国から集まりました。

評価基準

・技術的革新性（特に AI エージェントの活用）
・実用性と実現可能性
・社会的、経済的影響

※1　自社調べ
※2　DD マーケティングについて
三菱食品が推進する、データ分析とデジタルマーケティングを掛け合わせ、効果的な集客や広告・販促施策を小売業・メーカーに提案する新しいマーケティングの形です。